

1. 広東省

1. 広東省・中国共産党95周年大会の開催

●27日午前、上記大会で胡春華・省党書記は、中国の特色ある社会主義の偉大な旗を高く掲げ、習近平・同志を総書記とする党中央の周囲で更に緊密に団結し、習近平・総書記の一連の重要講話の精神を深く貫徹・実行し、信念を固め、進んで新しいことに取り組み、広東省の改革開放と社会主義現代化の新たな局面を切り開くべく努めるよう強調（6月28日付『南方日報』）。

2. 2016年「広東省貧困救済デー」関連イベントの開催

●27日午後、上記イベントで重点企業との座談会が開催され、朱小丹・省長が出席。広く動員し力を集め、貧困脱出戦に打ち勝つよう強調（6月28日付『南方日報』）。

●30日午前、朱小丹・省長が上記イベントに出席し、貧困者を思いやり、貧困脱出に助力していくことを提唱（7月1日付『南方日報』）。

3. 朱小丹・省長が韓国の安熙正・忠清南道知事と会談

●27日午後、上記会談で広東省と忠清南道が友好関係締結協定に共同署名。黄淳沢・在広州韓国総領事も同席（6月28日付『南方日報』）。

4. 省政協常務委員会会議の開催

●27日、王栄・省政協主席主宰の上記会議が開催され、貧困人口が相対的に集中している地域の経済発展状況について討議。李春生・副省長が省東西北部地域の振興・発展戦略の近年の成果を報告（6月28日付『南方日報』）。

5. 全省民営経済に関する現場会議の開催

●28日、仏山市で徐少華・副省長主宰の上記会議が開催され、中央及び省党委員会、省政府の民営経済の発展を促進する政策・手配を深く貫徹・実行すべく、広く仏山市、江門市、深圳市等の経験を総括。袁宝成・副省長が「広東省民営経済の大発展を促進するための若干の政策措置」について報告。朱小丹・省長は民営経済を大きく発展・レベルアップさせ、新たな局面を切り開いていくよう強調（6月29日付『南方日報』）。

●30日、広東省が推進する「千の企業が千の農村を助ける」精密援助キャンペーン並びに省の栄光事業促進会の第三期第4回理事会が開催され、朱小丹・省長、林雄・省統一戦線部長が出席（7月1日付『南方日報』）。

6. 朱小丹・省長が李嘉誠氏と会談

●29日午前、汕頭市で朱小丹・省長が李嘉誠・李嘉誠基金主席と会談し、広東・イスラエル理工学院の建設準備、人工知能分野における協力の展開等について協議。藍仏安・副省長も同席（6月30日付『南方日報』）。

●29日午後、朱小丹・省長が汕頭市南澳県を訪れ、観光産業と海洋経済の発展状況について視察。環境整備を強化し、美しい島を建設するよう強調（6月30日付『南方日報』）。

7. 香港・珠海・マカオ大橋の建設状況

●29日、香港・珠海・マカオ大橋のメインブリッジが連結された。すでにトンネル工事の80%も完成しており、来年末の開通に向けて準備が整いつつある（6月30日付『南方日報』）。

8. 胡春華・省党書記、朱小丹・省長等、省指導者が「七一」慰問活動を展開（7月1日付『南方日報』）。

9. 30日午後、胡春華・省党書記が米GE社グローバル上級副総裁一行と会談し、広東省への更なる投資を要

望（7月1日付『南方日報』）。

10. 省政府常務會議の開催

●30日午後、朱小丹・省長主宰の上記会議で国有企業改革の深化、海運業の発展・促進等の業務について検討し手配。今後5年以内に成果を上げると強調（7月1日付『南方日報』）。

11. 朱小丹・省長がシーメンズ管理委員会メンバーと会談

●30日午後、上記会談で、2015年国際コンサルティング会議のフォローアップのための協力事項について協議（7月1日付『南方日報』）。

12. 30日午前、朱小丹・省長が朱善璐・北京大学党書記と会談（7月1日付『南方日報』）。

13. 何忠友・副省長がカナダの建国記念レセプションに出席

●30日、何忠友・副省長が在広州カナダ総領事館で開催された上記レセプションに出席。2015年広東省とカナダの貿易総額は95億米ドルに達し、中国全体の対カナダ貿易の6分の1を占めている（7月1日付『南方日報』）。

14. 省エネ・CO₂排出削減業務に関する全省テレビ電話会議の開催

●1日午後、上記会議が開催され、朱小丹・省長が出席。広東省「十二・五計画」期間の省エネ・CO₂排出削減業務について総括。「十三・五計画」期間及び本年の業務を手配（7月2日付『南方日報』）。

15. 王栄・省政協主席がNZ・クライストチャーチ市長と会談

●1日、上記会談で王栄・省政協主席は、昨年12月の広州-クライストチャーチ間の直行便の就航を契機に、両地域の多方面での協力を更に推進していきたいと伝えた（7月2日付『南方日報』）。

16. 全国義務教育均衡発展推進会議、広東省義務教育発展監督・指導・検査フィードバック会議の開催

●2日、朱小丹・省長、劉利民・教育部副部長等が上記会議に出席。広東省が推進する義務教育均衡発展業務の経験について意見交換し、全国義務教育均衡発展業務で得られた段階的な成果を総括、次の業務を手配（7月3日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 26日、第5回中国（広州）国際金融交易博覧会（金交会）が閉幕し、この度の仮契約金額は3,338億元だった（6月27日付『広州日報』）。

2. 広州代表団が2016年サマーダボス会議に出席

●26日～28日にかけて、任学鋒・市党書記、温国輝・市長、陳建華・市人代常務委員会主任率いる広州代表団が上記会議に出席（6月28日付『広州日報』）。

●26日、広州市党・政府代表団が天津市で学習・視察し、黄興国・天津市党書記代理と会談（6月29日付『広州日報』）。

3. 市政協常務委員会議の開催

●27日午前、上記会議で「広州の特色ある珠江景観エリア構築」について討議（6月28日付『広州日報』）。

4. 中国-スイス（広州）低炭素シティ・プロジェクトが正式にスタート

●27日午前、従化区で上記プロジェクトが正式にスタートし、スイスの技術で同区にバイオ・医薬・健康産業

の拠点を構築していく。欧陽衛民・常務副市長、在広州スイス総領事等がオープニング・セレモニーに出席（6月28日付『広州日報』）。

5. 徐少華・副省長が広州市を視察

●29日、徐少華・副省長が広州市を視察し、任学鋒・市党書記、温国輝・市長等と座談会を開催。広東省がサポートする広州市の国際航空・海運・鉄道ハブの構築、重点機能エリアの建設等について検討（6月30日付『広州日報』）。

6. 2016年貧困救済デー及び羊城慈善活動の開催

●29日、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が上記イベントに出席し、慈善活動に熱心な企業や篤志家と座談会を開催。イベント開幕式では16の企業と170人の篤志家が4.15億元の寄付に同意（6月30日付『広州日報』）。

7. 温国輝・市長が韓国・光州市長一行と会談

●本年、広州市と韓国・光州市は友好都市締結20周年を迎え、27日～30日にかけて、尹壯鉉・光州市長率いる友好代表団170人が広州市を訪問。30日夕方、上記会談で温市長は、双方が不断に友好関係を温め続け、商業・貿易、産業、科学技術、観光、文化等の分野でさらに高い水準の協力を展開していきたいと伝えた。黄淳沢・在広州韓国総領事、蔡朝林・副市長、唐航浩・市政府秘書長等も同席（6月30日付『広州日報』）。

●先頃、広州アニメ業界協会と韓国の財団法人・光州情報文化産業振興院が文化・創作産業における協力協定に署名。本年9月には、広州市のアニメ制作企業が光州市で毎年開催されている文化・創作産業展覧会に出展（7月1日付『南方日報』）。

8. 任学鋒・市党書記、温国輝・市長が年配の党员や生活に困窮した党员を慰問（7月1日付『南方日報』）。

9. 任学鋒・市党書記、温国輝・市長が米GE社の重鎮一行と会談

●6月30日、上記会談で任学鋒・市党書記は、広州を中国及び世界のバイオ医薬産業拠点にするために助力してほしいと要望（7月1日付『広州日報』）。

10. 市党常務委員会議の開催

●7月1日午後、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、習近平・総書記が中国共産党95周年大会で述べた重要講話の精神を伝達・学習し、それを貫徹・実行するために業務を手配。併せて、「広州市が創新駆動に基づく発展を加速化させるための実施案」等について審議し採択（7月2日付『広州日報』）。

11. 任学鋒・市党書記がシーメンス管理委員会メンバー一行と会談

●先頃、上記会談で任学鋒・市党書記は、ロボット及びスマート設備、都市間交通インフラ整備、新エネルギー産業、スマートシティ建設等の分野で、広州市との協力をさらに拡大してほしいと要望（7月2日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 馬興瑞・市党書記が龍崗区、羅湖区を視察

●25日、馬興瑞・市党書記は採石場の改善等、都市の公共安全及びリノベーション業務を視察し、安全な発展の理念を確立し、人々の利益を至上とすることを堅持し、都市の安全リスクを徹底的に解決していくよう強調（6月26日付『深圳特区報』）。

2. キルギスで発生した地震で、馬興瑞・市党書記が安全確保を指示

●26日、キルギスでマグニチュード6.7の地震が発生し、カシュガル市でも強い揺れが感じられたものの、深

圳市から新疆ウイグル自治区カシュガル市へ赴き支援プロジェクトに従事している幹部、中国新疆カシュガル・中央アジア・南アジア商品交易会に出展している人々すべての無事が報告された。馬興瑞・市党書記は安全を確保し、救助活動の準備をしっかりと行うよう指示（6月27日付『深圳特区報』）。

3. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長が工業パーク、社区をそれぞれ視察

- 先頃、馬興瑞・市党書記、許勤・市長はそれぞれ工業パーク、社区で末端の党組織を視察。馬書記は党の執政基盤を群衆の心の中に深く植え込むよう強調（6月27日付『深圳特区報』）。
- 27日午前、馬興瑞・市党書記が羅湖区で行われた都市リノベーション・プロジェクトの一括起工式に出席。目標とした改革は大胆に推進・試行しなければならず、政府の機能をさらに転換し、断固として「強い区からの権限移譲」を推進し、改革によって発展の推進力・活力を奮い立たせ、着実にやることによって、特区建設を新たなステージに押し上げていくよう強調（6月28日付『深圳特区報』）。

4. 許勤・市長が2016年サマーダボス会議に出席

- 27日、許勤・市長が上記会議に招かれ開幕式に出席。世界経済フォーラムの創設者であるクラウス・シュワブ氏、浪潮公司董事長、米Airbnbグローバル運営総裁等と面会（6月28日付『深圳特区報』）。
- ※Airbnb：宿泊施設、民宿を貸し出す人向けのウェブサイト。本社はサンフランシスコ。

5. 深圳市の都市間鉄道11号線が開通

- 28日午前、深圳市の都市間鉄道11号線が開通し試運転を実施。同市福田区から前海自貿区まで15分、深圳空港まで30分、東莞市との境界までを1時間で結ぶ。馬興瑞・市党書記、許勤・市長が式典に出席（6月29日付『深圳特区報』）。

6. 馬建国・中央軍事委員会戦略企画弁公室副主任一行が深圳市を視察

- 26日～27日にかけて、馬建国・中央軍事委員会戦略企画弁公室副主任一行が深圳市で軍民の融合発展に関する業務状況を視察し、座談会を開催。周河・省軍区副司令官、徐安良・副市长、陳友清・深圳警備区司令官が視察に同行（6月29日付『深圳特区報』）。

7. 第2回深圳オリジナルデザイン新鋭賞の授賞式を開催

- 現地時間27日午後、セーヌ河畔にあるパリ・中国文化センターで、上記授賞式及び優秀作品展が開催され、世界23の都市から数千人の若いデザイナーが参加。16人の選手及び団体に新鋭賞が授与された。バンダリン・ユネスコ事務局長補、中国の張秀琴・ユネスコ大使等が授賞式に出席（6月29日付『深圳特区日報』）。

8. 深圳市・中国共産党95周年大会の開催

- 29日午前、上記大会では全市各級党組織と多くの共産党員に次のように呼びかけられた。習近平・同志を総書記とする党中央の周囲でさらに緊密に団結し、中国の特色ある社会主義の偉大な旗を高く掲げ、「4つの争ってなる」に努め、団結して全市民をリードし、過去を受けて未来を拓き、更に信念を固め、更に闘志を高め、更に仕事を着実に実行することで「2つの百年」という努力目標と中華民族の偉大な復興という「中国の夢」を実現するために励んでいこう。許勤・市長が主宰、馬興瑞・市党書記が出席（6月30日付『深圳特区報』）。

9. 馬興瑞・市党書記が全市各級党組織の書記に授業

- 29日午後、中央・省及び市党委員会が開催する「両学一做」学習教育の段取りに基づき、馬興瑞・市党書記は「いかにして良い書記になるか」をテーマに、全市各級党組織の書記に対して授業を行なった（6月30日付『深圳特区報』）。

10. 市政府常務會議の開催

●29日午後、許勤・市長主宰の上記会議で、「深圳市交通渋滞総合改善アクション・プラン（2016～2017）」について審議し採択（6月30日付『深圳特区報』）。

11. 2016年「広東省貧困救済デー」、「深圳市公益慈善月間」イベントの開催

●6月30日午前、上記イベントで海王集団、テンセント公益慈善基金、華南城集団等が約5,000万円の寄付に同意。イベントに先立ち、馬興瑞・市党書記、許勤・市長、丘海・市人代常務委員会主任、戴北方・市政協主席等が各界の篤志家と会談（7月1日付『深圳特区報』）。

12. 市党常務委員會議の開催

●6月30日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、「人材を集めるための住宅制度を完備するための若干の措置」について審議し採択（7月1日付『深圳特区報』）。

13. スイス査証受理センター（深圳）の開設

●6月30日、深圳市福田区に上記センターが開設され、申請受付を正式に開始した。スイスを含め、欧州12か国が深圳市に同様のセンターを開設している。本年6月～7月にかけて、在中国スイス大使館は新たに9つの査証受理センターを次々に開設（西安、杭州、南京、深圳、昆明、長沙、福州、済南、重慶）（7月1日付『深圳特区報』）。

14. 人材誘致に関する會議の開催

●1日午後、許勤・市長主宰の上記會議が開催され、2016年度の「孔雀人材」誘致計画案について聴取し、その業務について検討（7月2日付『深圳特区報』）。

15. 省エネ・CO₂排出削減業務に関する全省テレビ電話會議深圳分科会の開催

●1日午後、上記會議で許勤・市長は、省エネ・CO₂排出削減の各業務をしっかりと実施し、グリーン・低炭素発展の優位性を向上させていくよう強調（7月2日付『深圳特区報』）。